



# 長洲中だより

校訓  
健康 誠実  
創造

第45号  
校長(好調)室だより  
発行 令和2年5月25日  
文責 校長 中山直幸

## 学校再開に向けて！

5月の臨時休校期間は、新学年の教科書を使い、時間割どおりに家庭学習を進めてほしいと各教科から課題が出されました。ご家庭での様子は如何だったでしょうか。4/8から学校がスタートしましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、4/14に臨時休校となり、5/31まで延長されました。今後どうなるのかとても心配をしていましたが、ここ最近の感染状況から緊急事態宣言も解除され、待ちに待った学校が6/1より再開されることになりました。段階的な学校再開に向けて、5/26からは学年別に授業ガイダンスのための登校日を設定しました。午前中のみの登校になります。

また、6/1からは給食もスタートし、本格的な学校再開に向け動き出していきます。ただ、生徒の健康体力面を心配しています。再開後の学校生活に早く慣れるためにも規則正しい生活や適度な運動で体力を維持しておきましょう。今週一週間の過ごし方が鍵になるかと思えます。スムーズな学校生活が遅れるよう準備をしっかりとしておきましょう。



グラウンド開放の様子

## 雑巾をいただきました！

長洲町地域婦人会より、手縫いの雑巾35枚の寄贈がありました。学校の環境美化に役立ててほしいとの願いで、すべての長洲町小中学校に配布されています。学校内の消毒作業にも活用したいと思えます。

ありがとうございます。  
ありがとうございました。



寄贈された雑巾35枚

## Zoom 通信テスト！

臨時休校期間にZoomアプリを使った通信テストを行いました。Wi-Fi環境の整った学校では、オンライン授業が行われています。臨時休校がさらに延長された場合を想定し、本校でもどれだけできるのかを調査するために行いました。担任が、各教室毎にタブレットを準備し、スタンバイしていると、慣れない操作のなか画面を通じて笑顔で生徒と会話する様子が見られました。参加人数は、5/11は64名、5/14は65名、5/21は66名で、53.9%の生徒が通信できる環境にあることが分かりました。ご協力ありがとうございました。



タブレットによる会話(1-2)

## 学年別分散登校！



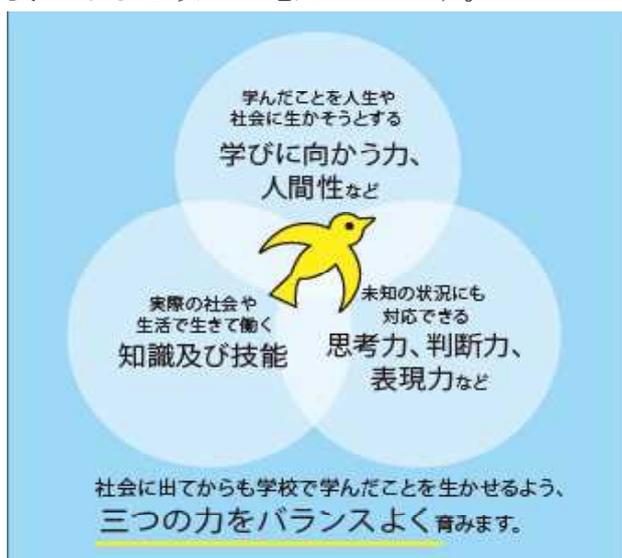
学年別登校での全体指導(5/18)

5月18日は、学年別分散登校日でした。体育館に集まった生徒は、課題提出とともに、新たな課題を各教科担当が詳しく説明しました。一週間分の課題を自分一人で学習をすることは簡単ではありません。分からない事が多いと思いますが、すぐに諦めるのではなく、何回も教科書や資料集等を読み込みながら理解できるよう努力することに大きな意義があると思います。どうしても分からなかったところは、学校が再開し、授業が始まったら先生に質問してください。少しでも家庭での学習が充実することを願っています。

## 新学習指導要領R3より

小学校は本年度から、中学校は来年度から新学習指導要領がスタートします。学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。また、これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしいとの願いで作成されています。ただ、これまで大切にされてきた子供たちに「生きる力」を育む、という目標は、これからも変わることはありません。

予測困難な未知の状況に対応できる力、今、新型コロナウイルス感染拡大という想定外の状況に重なります。未だに今後どうなるのか予測が付きません。このことを機会に、社会が大きく変わることは間違いありません。どのような状況になろうとも、未知の世界に対応できる力を身につける必要があると改めて感じています。



## 学校をきれいに！

休校中の学校をきれいにしようと、草花の水かけや樹木の手入れ

など全職員で朝の美化作業を行っています。おかげでグラウンド整備も含め、美しい長洲中学校が維持できています。いつでも学校が再開できます。



朝の職員作業の様子

## 食育研究発表に向けて！



県教育委員会からの説明の様子

昨年度から「学校給食・食育」研究推進校としての指定を受け、2年目となりました。5月20日、本校の研究の進捗状況や今後の研究の進め方を協議するために熊本県教育庁体育保健課より寺本指導主事、玉名教育事務所より土田指導主事、長洲町教育委員会より松井指導主事に来校いただきました。研究成果の中で、朝食キャンペーンの実践をまとめた保護者の素晴らしい感想にとっても興味を持っていただきました。

休校期間が長引き研究実践が大幅に制限される中、どのように研究を進めるのか今後の方向性を確認することができました。



掲示物の見学

## 除草ボランティアに感謝！

新山地区の大塚義明さんは、40年以上前からボランティアで長洲中学校のグラウンドの除草作業を続けておられます。夕方、今年も休校中の野球場周辺を黙々と作業される姿が見られました。お礼の言葉を掛けると「健康のためにやっているの、気をつかわないでほしい」と笑顔で話してくださいました。作業も丁寧にきれいに仕上げてもらっています。草が伸びるこの時期、学校としては大変助かっています。本当にありがとうございます。



黙々と作業される大塚さん

